

- 問1 奈良時代の律令国家において、一般の成人男子が負っていた税や義務に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。（2025年 岩手県公立入試 類似）
- すべての税を絹や布に統一して納めることが定められ、稲や特産物の納入は免除されていた。
 - 特産物を納める調や労役に代わる布を納める庸など、重い税や労役の負担が課されていた。
 - 田の面積に応じて稲を納める租の負担が免除される代わりに、兵役のみが課されていた。
 - 惣と呼ばれる農民の自治組織を通じて、村単位でまとめて労役の免除を申請していた。
- 問2 日本の古代における土地制度について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
- 有力な農民に土地の所有権を認め、年貢を村全体でまとめて納めさせた。
 - 新しく開墾した土地であれば、その土地を永久に私有することを認めた。
 - 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価に応じた現金を納めさせた。
 - 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田を与え、死ぬと国に返還させた。
- 問3 奈良時代、律令に基づいた政治が進められる中、遣唐使の要請を受けて日本を訪れ、唐招提寺を建立した人物は誰ですか。中央を南北に貫く朱雀大路や、官営の市場である東市・西市が整備された平城京の時代を背景に選んでください。（2019年 秋田県公立入試 類似）
- 天智天皇
 - 鑑真
 - 平将門
 - 藤原清衡
- 問4 律令制度のもとで行われた兵役のうち、唐や新羅などの大陸勢力からの侵攻に備え、九州北部の沿岸警備にあたった兵士を何と呼ぶか。主に東国の農民が徴兵されたことで知られている。（2016年 静岡県公立入試 類似）
- 守護
 - 国司
 - 防人
 - 地頭
- 問5 律令制のもとでは、政府が民衆を把握するために「戸籍」が作成され、それに基づき「口分田」が与えられました。この仕組みにおいて、収穫した稲の約3%を納める「租」のほかに、地方の特産物を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税が課されました。これら二つの税の名称として正しい組み合わせを選んでください。（2025年 長野県公立入試 類似）
- 調と庸
 - 租と庸
 - 防人と調
 - 公事と夫役
- 問6 奈良時代に唐から日本へ渡り、唐招提寺を建立した僧である鑑真が、5回もの渡航失敗や失明という困難を乗り越えて来日した主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
- 聖武天皇の命令を受け、平城京の都市計画や大極殿の設計を指導するため。
 - 日本に正しい仏教の戒律を伝え、僧侶に資格を授ける授戒の制度を整えるため。
 - 比叡山に延暦寺を建立し、最澄とともに天台宗を日本に広めるため。
 - 遣唐使の廃止を日本政府に進言し、日本独自の文化である国風文化を確立するため。
- 問7 平城京跡からは、各地から運ばれた荷物に付けられた「木簡」が多く出土しています。例えば若狭国から納められた塩などの地方特産物は「調」として分類されますが、これとは別に、都での労働の代わりに布を納める「庸」という制度が設けられた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）
- 都での大規模な土木事業や儀式に必要な労働力を確保、またはその代替財源を準備するため
 - 兵役の負担を減らす代わりに、すべての農民に地方官庁での労働を義務付けるため
 - 地方の特産品を都に集めることで、貨幣経済を全国に普及させるきっかけを作るため
 - 農民の生活を安定させるため、収穫した稲の3%だけを徴収して都の財政を潤すため
- 問8 律令国家が作成した戸籍の中には、ある郷の総人口435人のうち、男性が59人であるのに対し、女性が376人と記録されているものがあります。このように、実際の性別とは異なる虚偽の申告が行われた背景には、男性にのみ課せられた重い税負担がありました。収穫した稲の約3%を納める「租」とは別に、男性にのみ課せられた、地方の特産品を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）
- 調と庸
 - 租と調
 - 租と庸
 - 租と公出挙
- 問9 奈良時代の遺跡からは、農民が負担した税について記した木簡が出土することがある。律令制度において、班田収授法に基づき朝廷から農民に与えられ、そこでの収穫から「租」を納める義務が生じた土地を何というか。（2018年 北海道公立入試 類似）
- 口分田
 - 屯倉
 - 荘園
 - 墾田
- 問10 奈良時代の遺跡から発見された資料において、ある木の板に「産地・品目・送り主」の情報が記されていました。このような「木簡」と呼ばれる資料から読み取れる、当時の社会の様子や仕組みに関する説明として、背景や目的をふまえて最も適切なものを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
- 租として徴収された米を海外へ輸出するために、港で積み荷を管理する台帳として木簡が利用されていた。
 - 律令国家の仕組みにより、各地の特産物を納める調や、労役の代わりに布などを納める庸が、全国から都へ集まっていた。
 - 仏教の教えを全国に広めるため、聖武天皇が各地の国分寺へ経典の内容を簡略化して記した木板を配布した。
 - 防人として九州へ派遣される農民が、自らの氏名や出身地を忘れないよう、政府が公式な身分証として配布していた。
- 問11 奈良時代の日本が、危険を冒してまで唐に「遣唐使」を派遣し続けた政治的な背景として、最も適切な理由はどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）
- 鎖国政策を維持するために、特定の貿易港でのみ交流を制限する交渉を行うため
 - キリスト教を国教として採用し、寺院の勢力を抑えるための新しい宗教政策を導入するため
 - 元（モンゴル帝国）の襲来に備え、大陸の軍事拠点と防衛同盟を結ぶため
 - 律令制度などの優れた仕組みを学び、天皇を中心とする中央集権的な国家体制を整えるため
- 問12 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に、遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受けて栄えた、国際色豊かな貴族文化を何というか。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 飛鳥文化
 - 天平文化
 - 白鳳文化
 - 国風文化
- 問13 大宝律令などの法律に基づき、人々に土地を割り当てて税を納めさせる仕組みや、地方を統治する組織を説明した資料の内容として、正しいものはどれですか。（2018年 滋賀県公立入試 類似）
- 武士を各地方に派遣して土地の管理を行わせ、年貢を米ではなく全て絹や布で納めさせた。
 - 外国との交易を円滑にするための役所を各港に設置し、軍事教練を義務付けることで国防を強化した。
 - 豪族が代々所有する私有地を認め、地方の有力者が独自に裁判や軍事を行うことを許可した。
 - 戸籍を作成して人々に口分田を与える班田収授の法を定め、地方を国・郡・里に分けて統治した。